

部活動指導員の配置

配置状況

校名	令和元年度		令和2年度（8月末現在）	
	種 目	勤務時間	種 目	勤務時間
長橋	ソフトテニス	187 時間	ソフトテニス	57 時間
北陵	ソフトテニス（兼任）	52 時間	ソフトテニス（兼任）	58 時間
西陵	バスケットボール	204 時間	バスケットボール	47 時間
松ヶ枝	サッカー	43 時間	バレーボール	57 時間
潮見台	バスケットボール	14 時間	バスケットボール	25 時間
桜町	吹奏楽	210 時間	吹奏楽	113 時間
朝里	—	—	サッカー	48 時間
銭函	—	—	バレーボール	94 時間
計	<u>6校 5人</u>	710 時間	8校 7人	499 時間

（予算）年間 計 1,260 時間

※令和2年度はコロナ禍のため、部活動は6月からの開始となったが、全ての導入校で順調に活用されている。

配置校からの声

- 専門的な知識を持つ人材を配置することにより、競技経験のない顧問教員の負担軽減となり、生徒への技術的な指導に効果があった。
- 専門的な指導による生徒の安心感が大きい。
- 休日の大会の生徒引率を任せることで、教員の負担が軽減した。
- 指導員に部活動指導を任せることで、生徒への学習指導の時間を確保できた。
- 学校外の人材との交流を通じ、生徒の成長が見られた。
- 専門的な指導ができるので、生徒に対する効果は高い。もう少し指導時数を増やしてもらいたい。

このように、部活動指導員導入の効果は大きく、次年度以降も拡充してほしいという声が導入校から上がっている。